



ことしのかだいとしょ



『それで、いい!』 いそ 礒 美ゆき／作 はた こうしろう／絵 (ポプラ社)



きつねは、絵をかくことが大好き。ある時、先生にてんらんかいに出すように言われ「みんながおどろくようなすごい絵をかく!」ときめます。でもだんだんすごい絵なのかどうかかわからなくなり、とうとうきつねは・・・。

『よるのあいだに...』 ポリー・フェイバー／文 ハリエット・ホブデイ／絵

なか い はるの／訳 (BL出版)

わたしがパジャマに着がえるころ、ママは大切なおしごとに出かける。わたしがねているよるも、たくさんの人たちが町ではたらいっている。よるにはたらく人たちのおしごとをしょうかいします。



『けんかのたね』 ラッセル・ホーバン／作 小宮 由／訳 おおの やよい／絵



いわなみしよてん (岩波書店)

ある日、しごとからつかれてかえってきたおとうさん。いえの中では、犬のボンゾーがねこのブスをおいまわし、4人のこどもたちは大げんかのまっさいちゅう。わけをきいてもみんなじぶんのせいじゃないというばかりで・・・。

『うまれてくるよ海のなか』 高久 至／しゃしん かんちく たかこ／ぶん (アリス館)

うみの中で、たいせつなたまごをまもるさかなのおとうさん・おかあさん。たまごに水をふきつけたり、かくしたりしている。あかちゃんがぶじに生まれるまで、いっしょうけんめいお世話します。うつくしいしゃしんがいっぱいの1さつです。



かこのかだいとしょ

2022年

『つくしちゃんとおねえちゃん』 いとう みく／作 丹地 陽子／絵 (福音館書店)

『ばあばにえがおをとどけてあげる』 コーリン・アーヴェリス／ぶん

イザベル・フォラス／え まつかわ まゆみ／やく (評論社)

『すうがくでせかいをみるの』 ミゲル・タンコ／作 福本 友美子／訳

にしなり かつひろ にほんごばんかんしゅう しゅつばん 西成 活裕／日本語版監修 (ほるぷ出版)



『おすしやさんにいらっしやい!』 おかだ だいすけ／文 遠藤 宏／写真 (岩崎書店)



2021年

『あなふさぎのジグモンタ』 とみなが まい／作 たかお ゆうこ／絵

(ひさかたチャイルド)

『そのときがくるくる』 すず きみえ／作 くすはら 順子／絵 (文研出版)

『みずをくむプリンセス』 スーザン・ヴァーデ／文 ピーター・H. レイノルズ／絵

さくま ゆみこ／訳 (さ・え・ら書房)

『どこからきたの? おべんとう』 鈴木 まもる／作・絵 (金の星社)



2020年

『山のちょうじょうの木のてっぺん』 最上 一平／作 有田 奈央／絵

しんにほんしゅつばんしゃ (新日本出版社)

『おれ、よびだしになる』 中川 ひろたか／文 石川 えりこ／絵 (アリス館)

『タヌキのきょうしつ』 山下 明生／作 長谷川 義史／絵 (あかね書房)

『ながーい5ふん みじかい5ふん』 リズ・ガートン・スキャンロン／文

オードリー・ヴァーニック／文 オリヴィエ・タレック／絵 木坂 涼／訳

みつむらきよういくとしょ (光村教育図書)